

平成29年度 ハンギングバスケット教室

～ハンギングバスケット教室を開催することによって～

目的

- ・花き等について学んでいる県内高校生の装飾技術の向上を図る!!
- ・花の飾り方の一手法として、ハンギングバスケットを県内に広め、花きの需要促進及び花き産業の進展に寄与する!!

(国産花きイノベーション推進事業を活用)

平成29年度は5校（65名）で開催

- 6月21日（水）智頭農林高等学校 2年生4名
- 9月19日（火）日野高等学校 2年生13名
- 10月12日（木）倉吉農業高等学校 2年生10名、3年生11名
- 10月18日（水）米子高等学校 2年生13名
- 10月20日（金）鳥取湖陵高等学校 2年生14名

講師の紹介

講師は鳥取県ハンギングバスケット協会鳥取支部の皆さん（左）と、とっとり花回廊の皆さん（右）



使用花材

県内の花壇苗生産者等が栽培したビオラ、ジニア、モミジバゼラニューム、トウガラシパープルフラッシュなど、季節にあった花材を使用しました。



体験の様子



最初にハンギングバスケットについて学びました。

ハンギングバスケットとは、つりかごなど空中につり下げられる容器に植物を植え付け飾る空間の演出方法の1つです。空中に浮かべて植物を飾ることで、スペースが有効に活用できたり、植物が目線の高さ近くになるため、寄せ植え等とはまた異なる印象を観賞者に提供できます。



作成の手順（前半）は???

- ①スリット型バスケットの内側にスポンジを貼付
- ②バスケットの鉢底に軽石を敷き詰める
- ③軽石の上に培養土を3cmほど入れる
- ④完成形をイメージしながら花苗を選択



作成の手順（後半）は???

- ⑤根は内側、花が外側になるように、スリットに花苗を入れていく
- ⑥1段目の花苗植付けが終了したら、花苗が隠れる程度の土を入れる
同様に2段目、3段目と繰り返す
- ⑦乾燥防止、表土の流出防止のために、水苔を敷き詰め終了



ジャ、ジャー!!
完成

完成したハンギングバスケットは各高校で展示され、水やりや花がら取りなどの栽培管理を高校生の皆さんに行っていただいています。



完成作品披露



日野高等学校



鳥取湖陵高等学校



倉古農業高等学校



米子高等学校



智頭農林高等学校

高校生の皆さんの感想

- ・初めての体験で不安でしたが、指導者の方が優しく丁寧に教えてくださり、楽しく作業ができ、良い作品ができました。また、こういう機会があればと思います。
- ・どの花をどこに使うかを考えるのが楽しく、とても良い経験になりました。
- ・初めてで、バランスを考えるのが難しかったが、とても楽しくできました。
- ・花の配置など、とても難しかったが、家でもやってみたいと思いました。

終わりに

当初戸惑いも見られましたが、後半になればなるほど、生き活きと各自が創意工夫して、オリジナリティー溢れる作品をつくりあげてくださいました。「またやりたい!」という声があちらこちらで飛び交うなど、この教室に参加いただいた高校生が発端となり、ハンギングバスケットの県内への広がり、ひいては花の需要創出への繋がりが期待されます。今後とも鳥取県花き振興協議会では、高校生が花に携わる機会を提供していきます。